

# 一般質問

## 市政全般にわたり16人の議員が質問 (要旨を掲載)

### 急げ！児童虐待防止策



佐藤 弥斗 議員《政和会》

児童虐待により日本の宝である子どもの尊い命が奪われるという悲しい事件が後を絶ちません。先進市ではアメリカで開発されたCSP(コモンセンスアレンディング)という児童虐待防止プログラムを保護者に向け実施しています。虐待の連鎖を断ち切り、子どもの生命を守るためにも、こつこつと取り組みを本市において積極的に進めたいと考えています。当局のお考えをお示しください。

また、本市において不登校などの児童・生徒で保護者や家族以外の第三者が1カ月以上上会っていない事例がどの程度あるのか伺います。

**保健福祉部長** 現在、保護者向けの児童虐待防止プログラムの実施はしていませんが、今後よく研究していきます。

昨年、市内の保育士を対象に2日間の虐待防止の研修を行いました。

**教育長** 学校による児童・生徒の安全確認が1カ月以上できていない事例は小学校1人、中学校13人です。

### ジェネリック医薬品の普及対策を求める



上沢 本尚 議員《公明党》

最近、ジェネリック医薬品の普及が進んできています。ジェネリック医薬品とは、新薬と同じ有効成分、効果、効能でありながら価格が安い後発医薬品のことです。新薬に比べ2割から7割の価格で提供できると言われており、患者の医療費負担の軽減が図られることとなります。これは、私たちが公明党が政権党時から強力に推進している政策の一つであり、利用が進めばそれだけ国保財政の安定にもつながります。本市においても

ジェネリック医薬品希望カードを被保険者全員に配布すべきであると考えますが、市長並びに当局の見解を伺います。

**市長** 国保会計の健全化に向けた取り組みが必要であり、求められる機能が確保されたジェネリック医薬品の採用は極めて重要であると思います。

**保健福祉部長** 広く普及させたいと考えています。カードの配布方法については課題として受けとめ、公共施設での配置についても対応を考えていきます。

### 盗難防止システムを導入し 図書資料を守れ!



木村 正博 議員《公明党》

福岡県福津市の市立図書館では、2008年が865冊で約165万円相当、2009年は450冊で約90万円相当の図書盗難被害があることから、盗難防止システムを導入しました。このシステムは、書籍にバーコード磁気を施したもので、貸し出し手続きを

せずに館内から持ち出そうとすると、出入口の防犯ゲートが反応するものです。さて、本市の被害状況ですが、2008年が1654冊で約196万円相当、2009年は1587冊で約190万円相当であり、開館日数を年間300日とした場合、毎年

### 山岡鉄舟揮毫の額を 市指定の重要文化財に



中澤 邦雄 議員《日本共産党》

栗原村の大矢弥市、弥七兄弟は幕末から明治にかけて、村の子弟教育のために資金を出して「郷学校」を設立し、その運営に努め、栗原学校のモダンな校舎建設を行うなど近代学校制度の魁として神奈川県教育の礎を築きました。山岡鉄舟は、江戸城無血開

城」の実質的誓約をなした明治維新の功労者で、書道の大家としても名高い人物です。その山岡鉄舟が大矢弥市の招きにより明治13年に栗原村に来て、「栗原学校」の書を揮毫し、それが扁額として現在、栗原小学校に保管されています。これを本市の重要文化財

### 生活保護世帯にも 熱中症対策強化を



柏木 育子 議員《日本共産党》

今年、本市でも、熱中症者搬送のため救急車が8月31日時点で58回出動したという異常な暑さです。マスコミは毎日のように、独居世帯や低所得者が、電気代を払えないため、暑さの中クーラーを使用せず死亡という報道をしています。

本市では、生活保護世帯でクーラーを買いたいという申し出はなかったのでしょうか。今住んでいる借家に初めからクーラーが設置されているとは限りません。保護費の中から購入費を捻出するのは難しく、市独自の緊急対策として生活保護者に、クーラーの設

### 生産者の思い 米飯給食に地元産米を!



牧嶋 とよ子 議員《神奈川ネット》

平成19年第3回定例会の一般質問において、米飯給食に地元産米を取り入れることについて教育長の所見を求めたところ、県学校給食会は県内

産の米を使用し、安全な米を安定した価格で安定供給しており、このシステムの中で、一部の米を特別扱いで一部学校に供給するということが保

### 住基データで補うのに 国勢調査は必要なのか

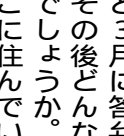


竹市 信司 議員《市民連合》

今回の国勢調査で調査票を回収できない場合に住基データを利用するとされていることについて企画財政部長は、住民登録と居住実態が異なる場合に実際の居住地との二重カウントやカウント漏れの懸念があるので取り扱いについて総務省に問い合わせていると3月に答弁されましたが、

その後どんな回答があったのでしょうか。特定の相手ごとに住んでいるか追跡調査するわけではありませんから限界があるのは当然ですが、住んでいることになっている所に指定し、全市民の宝として永久に保存すべきです。

### 地域の防災力を高め 災害に備えよ!



安斉 昭雄 議員《明政会》

地域の防災力低下が懸念されています。平素から顔の見えるコミュニティづくりを進めていくことが地域の防災力向上につながると思います。この際、地域の防災活動をきっかけにしてコミュニティの活性化に取り組んでほしいと思います。また、地域ごとに独自の助け合い、防災や避難活動の体制づくり、またその広がりが必要は認識していただければ、防災、減災に向けての心構え、備え等の取り組みを自主防災組織などの連携を図りながら、行政として今後ともしっかりと支援してまいります。

また、地域ごとに独自の助け合い、防災や避難活動の体制づくり、またその広がりが必要は認識していただければ、防災、減災に向けての心構え、備え等の取り組みを自主防災組織などの連携を図りながら、行政として今後ともしっかりと支援してまいります。

また、地域ごとに独自の助け合い、防災や避難活動の体制づくり、またその広がりが必要は認識していただければ、防災、減災に向けての心構え、備え等の取り組みを自主防災組織などの連携を図りながら、行政として今後ともしっかりと支援してまいります。

また、地域ごとに独自の助け合い、防災や避難活動の体制づくり、またその広がりが必要は認識していただければ、防災、減災に向けての心構え、備え等の取り組みを自主防災組織などの連携を図りながら、行政として今後ともしっかりと支援してまいります。

また、地域ごとに独自の助け合い、防災や避難活動の体制づくり、またその広がりが必要は認識していただければ、防災、減災に向けての心構え、備え等の取り組みを自主防災組織などの連携を図りながら、行政として今後ともしっかりと支援してまいります。

また、地域ごとに独自の助け合い、防災や避難活動の体制づくり、またその広がりが必要は認識していただければ、防災、減災に向けての心構え、備え等の取り組みを自主防災組織などの連携を図りながら、行政として今後ともしっかりと支援してまいります。